

第42回 緑風舎コンサート

宮下直子 デュオリサイタルシリーズ vol.4

砂原 悟を迎えて

鍵盤を舞う指、踊る心.....

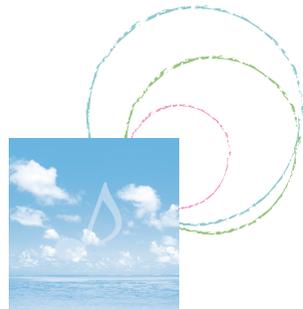
宮下直子 × 砂原 悟

4手連弾

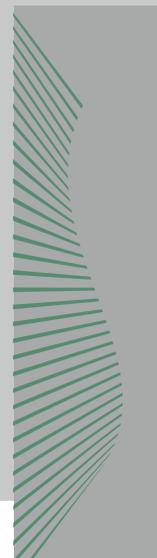
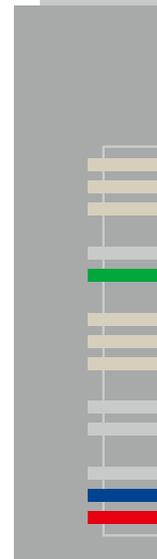
Mozart & Schubert

Sun. May 20, 2018 3p.m.

緑風舎音楽ホール



緑風舎  
自由空間



# Today's Program



## Mozart & Schubert

<モーツァルト>

フランスの歌「ああ、お母さん、あなたに申しませう」による  
12の変奏曲 K.265 (宮下ソロ)

ソナタ ヘ長調 K.497 (4手連弾)

第1楽章:アダージョ ~アレグロ・ディ・モルト/第2楽章:アンダンテ/第3楽章:アレグロ

— 休憩 —

<シューベルト>

楽興の時 D 780-2 (砂原ソロ)

創作主題による変奏曲 D 813 (4手連弾)

テーマ:アレグレット 第1変奏/第2変奏/第3変奏:ウン・ポコ・ピウ・レント/第4変奏:  
テンポプリモ/第5変奏/第6変奏:マエストーソ/第7変奏:ピウ・レント/第8変奏:  
アレグロ・モデラート

幻想曲 ヘ短調 D 940 (4手連弾)

第1楽章:アレグロ/第2楽章:ラルゴ/第3楽章:アレグロ/第4楽章:コン・デリカテツァ(デ  
リカシーを以って)



初夏の花々が咲き乱れる美しい季節に、緑風舎コンサートのデュオリサイタルシリーズの第4弾として、私の大学時代の友人で、現在京都市立芸術大学教授として日本やヨーロッパで活躍されている異色のピアニスト、砂原悟さんをお迎えする機会を頂きましたことを心から嬉しく思っています。

卒業後は学んだ国も演奏スタイルも全く違うピアニスト同士の連弾デュオですが、共に心酔するシューベルトにモーツァルトを加えた珠玉のピアノ作品の数々を緑風舎の庭に訪れる鳥の囀りとともに、最後までごゆっくりお楽しみ頂ければ幸いです。

宮下直子

宮下直子 Naoko Miyashita : piano



和歌山県立桐蔭高校を経て東京藝術大学卒業。在学中「安宅賞」受賞。第25回全日本学生音楽コンクール西日本大会第1位。出口美智子、小林仁、井口秋子の各氏に師事。1983～88年ロンドンに留学し、マリア・クルチョ女史に師事。オックスフォード大学ジャパンソサエティに招聘されリサイタルに出演、浩宮皇太子殿下の臨席を賜る。一時帰国の際、大阪フィルハーモニー交響楽団とプロコフィエフの協奏曲第3番とラフマニノフのバガニーニ狂詩曲を協演。帰国後、和歌山、大阪、東京にてリサイタル、歌曲伴奏、室内楽で活動を開始。「紀陽コンサート」にて日本センチュリー交響楽団とシューマンの協奏曲を協演する他、内外のオーケストラと協演、オーケストラの鍵盤楽器奏者としても著名なアーティストとの共演を重ね、大阪クラシックなどの音楽祭、NHK-FM放送等に度々出演、文化庁アウトリーチに参加する等多彩な活動を行っている。

和歌山では、「サタデーアフタヌーンコンサート」等独自の企画によるコンサートシリーズを展開、2018年よりメディア・アート・ホールにて「楽興の時クラシックコンサート」をスタートさせた。また、ルルホールでは「宮下直子クラシックピアノの世界」、緑風舎では14年より、フルートの野津臣貴博、ヴィオラの廣狩亮、ヴァイオリンの澤和樹の各氏をゲストに迎えてデュオリサイタルシリーズを続けている。

和歌山県文化奨励賞、和歌山市文化奨励賞受賞。

現在、相愛高等学校、相愛大学、相愛大学大学院、京都市立芸術大学各非常勤講師。

砂原 悟 Satoru Sunahara : piano



東京藝術大学付属高校を経て、1983年同大学卒業。同大学院在学中の85年ドイツ学術交流会(DAAD)の奨学金を得て渡独。87年ミュンヘン音楽大学マイスタークラスを修了し帰国。88年東京藝術大学大学院修了。93年まで同大学院博士後期課程に在籍。84年日本音楽コンクール入選。87年ポルトガル国際ピアノコンクール(ポルトガル)入賞。88年クロイツァー賞受賞。83年東京藝大オーケストラとブラームスのコンチェルト第2番を藝大初演。同年NHK-FMの新人演奏オーディションに合格。84年東京文化会館の推薦音楽会に出演。在独中の86年室内楽で西独バイエルン放送に出演、87年ミュンヘンでリサイタル。帰国後リサイタルや室内楽等、本格的に演奏活動を開始、NHK-FM放送にも度々出演。96年イタリアのボンポザ音楽祭に招かれる。2005年からクラヴィコードでの演奏も開始、この頃より藤枝守の作品発表に関わり、自由学園明日館、NTTコミュニケーションセンター、福岡住吉神社能楽殿、金沢21世紀美術館、茨城県近代美術館、京都芸術センター等で演奏。08年マイルストーン・レーベルより発表された「クラヴィコードの植物文様」(藤枝守作曲)はレコード芸術誌で「準特選」を受けた。14年エレクトリック・ピアノの銘器「Rohdes」でのソロコンサート。18年イタリア・レッチェ音楽院にてマスタークラスとリサイタル。フィレンツェのクリストフォリ・アカデミアにて1846年製ベーゼンドルファーによるリサイタル。

現在、京都市立芸術大学教授。東京藝術大学非常勤講師。

宮島敏、中山靖子、クラウス・シルデ、小林仁の各氏に師事。